

第7回 シオンの家合同運営推進会議（合同運営懇談会）

特定非営利活動法人シオンの家

日時：令和元年7月26日（金）18：00～19：15

場所：谷山市民会館

主催：シオンの家本部、シオンの家光山、シオンの家坂之上、シオンの家生きる、
シオンの家中山、シオンの家かわなべ、シオンの家清水

声掛記録

ご利用者様ご家族、地域包括支援センター谷山南、地域包括支援センター谷山中央、
有識者、地域住民

出席者

ご家族…（本部）1名（光山）4名（坂之上）4名（生きる）5名（中山）2名
（かわなべ）2名（清水）2名

法人…8名、地域住民…当日欠席の為、委任、有識者…1名、市町村職員…2名

報告事項

1. 施設長挨拶（施設長より）

2. 平成30年度損益報告（統括部長より）

昨年度の決済報告がされ、課題として様々な事由による退所によって空床が生じた後、次順位に該当する方の入居に大幅な期間を要したことがあげられた。新規利用者の早期での受け入れと安定した運営のために地域連携室によるケアマネ・医療機関との連携を強化して、利用ニーズに対して最新情報を把握しつつ、間断なくサービスに繋げていくとの説明がされた。今年度6月分利用料より入居費の家賃部分を除いた金額に対する消費税課税について、本会議にて今一度説明がなされ、ご家族の方々のご理解をいただいた。また、10月の消費増税により、入居費のうち家賃額を除いた金額に対して、現行の8%課税から10%課税へ引き上げられ、食事代は軽減税率対象のために現行通り8%課税が維持されることの報告がなされ、承認をいただいた。

3. シオンの家事業所状況報告（各事業所管理者より）

各事業所、直近半年間の日々の介護状況、行事活動等、報告された。

4. 各委員会報告

(1) 事故防止委員会（委員長より）

委員会の活動目的と具体的な事故防止対策を報告。生命に関わる重大な事故は発生しなかったものの、重大事故に発展しやすい転倒・転落事故が全事故件数の約7割を占めることから人的対応のみならず、万一の転倒時に衝撃を軽減すべく、ハード面にも工夫を施しているとの説明がされた。また、介護事故の該当基準を法人独自で厳格に設定し、怪我や体調異変に至らなかった軽微なトラブルもれっきとした介護事故として処理し、適切な原因究明や対策を講じるなど、徹底した再発防止に取り組んでいるとの報告がされた。

(2) レクリエーション委員会（委員長より）

各事業所の活動状況を闊達に報告、意見交換することで、レクリエーションに対する意識向上や幅広い知識や技術の養成に取り組んでいます。また、季節感のあるイベント、園外レクリエーションを積極的に企画、実践しており、今後も刺激のある日常生活を提供することで、数多くの楽しみや喜びを引き出していきたいとの報告がされた。

(3) 接遇向上身体拘束防止委員会（委員長より）

利用者様の尊厳を遵守することを何よりの心得として、利用者様へ仕える精神を大事にしている。言葉の乱れが諸悪の根源として利用者様の言葉遣いの向上と利用者様本位の対応を学習している。シオンの家が掲げる理念に基づき、個別対応を実践し、利用者様に寄り添う介護を実践する為の接遇を目指している。また、介護保険施設では身体拘束を原則、禁止していることも踏まえ、身体拘束の定義を説き、身体拘束によるリスク抑制ではなく、個別対応をもって精神面の安定化と事故防止を図ることの重要性を研鑽しているとの報告がされた。

5.介護保険負担割合証提出のお願い（総務部長より）

現在発行されている介護保険負担割合証の有効期限が2019年7月31日までとなっているため、7月中に各市町村から送付される新しい介護保険負担割合証がお手元に届き次第、原本もしくは写しを各事業所まで提出していただくようお願い求めた。

6. ご家族からシオンの家へのご意見

【ご意見①】利用者の夜間急変時、シオンの家クリニックに対応してもらうことはできるのでしょうか？また、先日災害級の豪雨に見舞われ、心配していたが、災害対策や災害時の対応等のマニュアルは全職員が把握されているのでしょうか？

【回答①】緊急時の対応としては各利用者それぞれの主治医による指示対応が原則となるため、主治医を差し置き、独断で対応することは現実的でないと認識しております。ただし、各主治医よりシオンの家クリニックへ直接要請依頼があった場合は代行していただけるかと思えます。災害時の懸念に関しては土地選びの時点でまず自然災害リスクを第一に熟考してきました。既存の各事業所におきましてもそういった災害時の安全性の側面を考慮し、土地選定しておりますので、住環境は万全かと思えます。現にいずれの事業所も、各自治体が作成配布しているハザードマップの土砂災害や氾濫の危険区域には該当しておりません。災害時の備えとしても各事業所、非常食や非常トイレなどを備蓄しており、全職員が適切な避難行動を行えるよう、消防隊員立会いのもと、避難訓練も年二回実施しております。発災時には自治体の見解や指示も迅速に収集しつつ、最善の選択を柔軟に行いながら、全事業所で助け合い、自助・共助による災害被害軽減のための努力をしております。

7. 閉会（司会 総務部長より）

市町村職員として地域包括支援センターの代表者2名、また有識者としてご出席いただきました白男川薬局代表者様よりご挨拶いただき、以上を以て本日の会議は19：15に閉会した。

この議事録は正確であることを証明します。

令和元年7月26日

議事録作成者

■■■■■■■■■■

司 会

■■■■■■■■■■

議事録署名人

■■■■■■■■■■

議事録署名人

■■■■■■■■■■